

"EBINE CLINIC"

『陰影礼賛』

inei-raisan



日本の美学の底には「暗がり」と「翳り」がある。
(谷崎潤一郎 / 1933年)

2020

■総合プロデュース

株式会社パワーステーション 小倉薫雄

■施工

株式会社バックシステム 大竹真人



デザインコンセプト

新型コロナウイルスの影響で医療施設では清潔度が最重要課題だが、すぐその先のアフターコロナでは改めて「心から医者と患者が向き合う空間」が求められてくるように感じている。「治療から癒しへ」そんな単純のものではないが、コロナでの心の病も見逃せない事態になっている。これからのクリニック空間は、ゆとりと、落ち着きのある空間が望まれると考え、それをデザインしていくことが使命と感じていた。

今回の「EBINE CLINIC」はまさにそれをどこよりも一足先に実践できた実例である。

「性別を意識せずに落ち着いた空間を」という海老根先生の命題を解決するために、グレーのモノトーンを基本ベースに、ひき締まった空間を目標とした。大理石風イタリアンタイルの壁面を持つ受付には、20世紀の「モダニズム」を謳歌した巨匠デザインの家具たちが出迎え、それに続く通路を白いタイルが誘導してくれる。コロナで必需品となっていきだろう「顔認証システム（体温検知兼）」が奥の自動ドアの開閉をコントロールする。その先にはフランスの漆喰仕上げの曲面の壁がさらに落ち着き感を醸し出し、その前にはKollの繊細だがゴージャスな家具がピンスポットに照らし出されて、ここが一気に時間を忘れてしまいそうな場となっていく。天井のダウンライトにはスピーカーが内蔵されていて光と音響のマッチングが楽しめる。

切子のショーケースを鑑賞しながらさらに先に行くと、真っ赤なバカラの赤いスタンドがモノトーンの中に初めて色彩を意識させる。ちなみに手前の書のタイトルは「色」である。新設のパウダーコーナー兼備のトイレ、特別室（RoomV）、その他の診察に必要な諸室、点滴ルーム、またスタッフ動線なども徹底的に「陰影礼賛」にこだわっている。

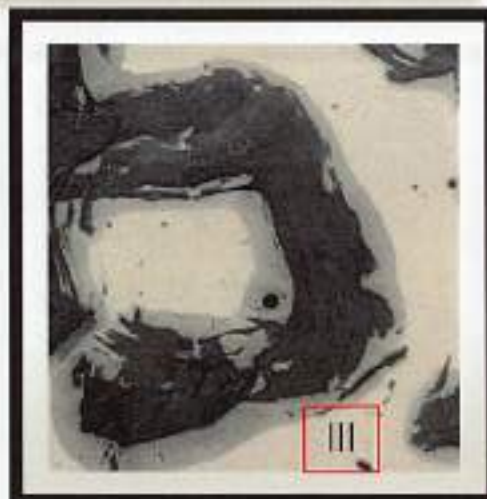
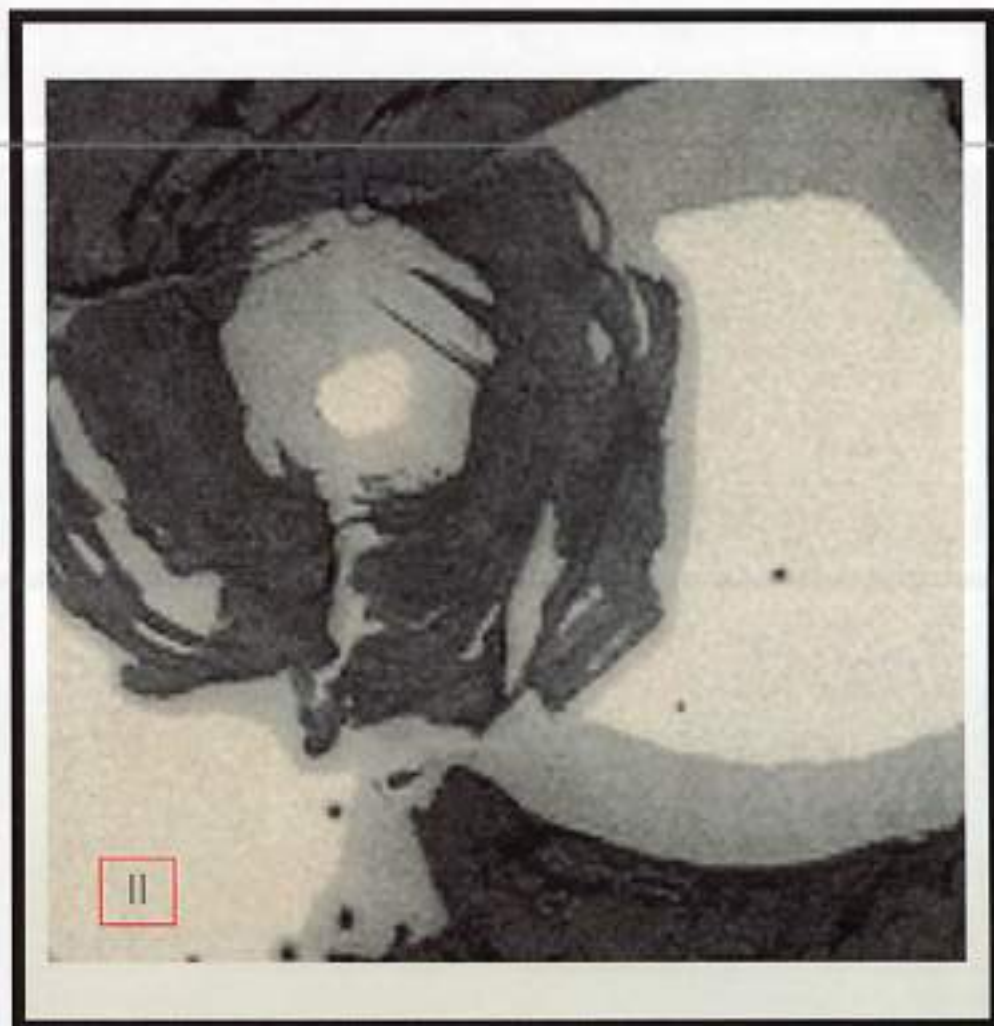
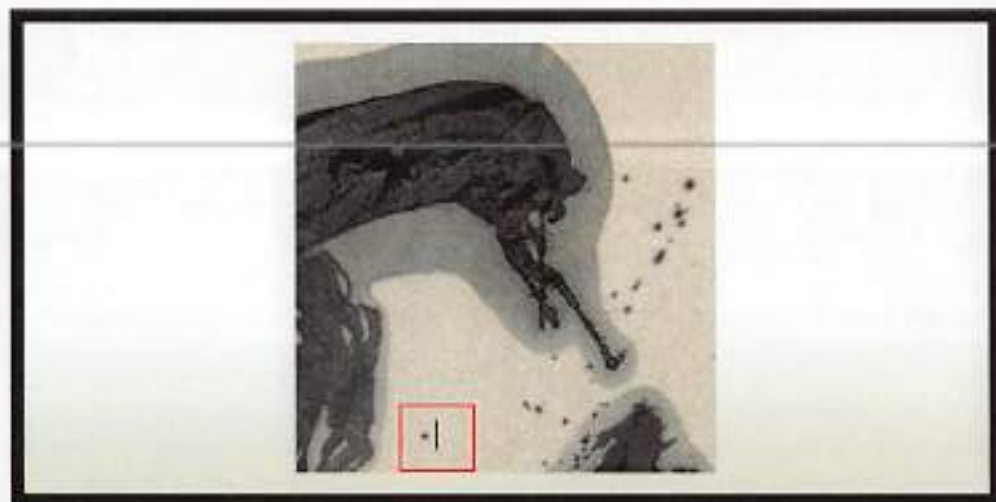
天井は日本の伝統色から「すねず」「深川ねず」「なまり色」の塗り分けになっている。お分かりになるだろうか？日本人は本来ねずみ色を識別する才能があるらしい。「深川ねず」などは三味線の音が聞こえてきそうでどこか艶っぽい。

壁も同じ柄の三色違いを使って個室の変化を出している。その壁の柄と皮巻きのドアハンドルの気づかれぬマッチングも贅沢な楽しみである。壁には貼り物のダイノックも使われているが、基本はSANGETSUのリーズナブルな壁紙で効果的に仕上げている。電気スイッチも艶消しのブラック仕上げ（パナソニックの新製品）、エアコン、分電盤、ダウンライトも、点検口も天井色に合わせて塗装してある。

最先端の港区のクリニックに光と影の『陰影礼賛』、サインや書を通じて和のテーストを染み込ませ、一貫したデザインの精神で日本人の心を、他の国の人の心も癒す。そんな空間への出発点である。

2020年7月26日

小倉薫雄



室名サイン

「師」という漢字の古い書体をアレンジして書いたもの（2016年毎日書道展佳作）から抜粋しています。



チャールズ・レニー・マッキントッシュ (1868~1928)
スコットランド (グラスゴー) の建築家



1903年頃のソーキー
ホール通りのワイロー・ティ
ルームズの正面



アーガイルストリートティールーム用1897

ヒルハウス1904年
(今から116年前)
HILL HOUSE





LC4

シェーズロング
(1928)

合作
シャルロット・ペリアン
ピエール・ジャンヌレ



ル・コルビュジェ (1887~1965) スイス生まれ
フランスで活躍した20世紀を代表とする建築家



LC12 1925年 (95年前のデザイン)



LC7

LC1



LC2 (1928年)



国立西洋美術館 (コルビュジェの日本での唯一の建築作品)



ジオ・ポンティ (伊) 1891~1979

SUPERLEGGERAスーパーレジェーラ チェア



1957年

ジオ・ポンティによってデザインされたアームレスチェア。1952年から開発が始まり、1957年に完成するまで非常に長い歳月がかかりました。極限まで削ぎ落とされた幅18mmの三角形フレームと、重さ1700グラムという軽量の椅子は、堅固さと軽さを完璧なバランスで仕上げています。座の籐は手編みで、ひとつひとつ丁寧に作られ、発売から半世紀以上にわたって人気のロングセラーとなっています。



コンテンポラリーダイニングテーブル
PLATNER

Knoll

ウォーレン・プラトナー

1966年、プラトナー・コレクションは、現代の語彙に浸透し始めた「芸術的で優美な」形を捉えました。象徴的な作品は、何百もの湾曲したスチールロッドを円形のフレームに滑接することによって作成され、同時に構造と芸術品として機能します。

プラトナーコレクションの50周年を記念して、2015年に18Kゴールド仕上げのオプションが追加されました。

仕上げ

ニッケルとゴールド仕上げはメッキ、メタリックブロンズは塗装仕上げです。

追加の情報

構造と詳細。

テーブルトップは、木材、透明と青銅ガラス、コーティングされた天然大理石と天然花崗岩の広い範囲

で利用可能です。研磨されたニッケルメッキ、18カラットゴールドメッキ、またはメタリックブロンズ塗料で利用可能。

ラウンドトップは垂直スチールワイヤーロッドは、円形の水平ロッドとエッジフレームロッドに滑接されています。

表面の滑らかな表面のための透明なプラスチック押出リングは、



1962
Bastiano Sofa
Tobia Sofa

1962
Side Chair
Warren Platner

1962
Tables
Warren Platner

DATA

- 所在地：〒108-0074 港区高輪1-2-17 高輪樫ビル5F
- 主要用途：診療所（クリニック）5階部分改装
- 面積：施工延床面積129.5㎡（39.2坪）

■建築主：医療法人社団MAY 海老根真由美

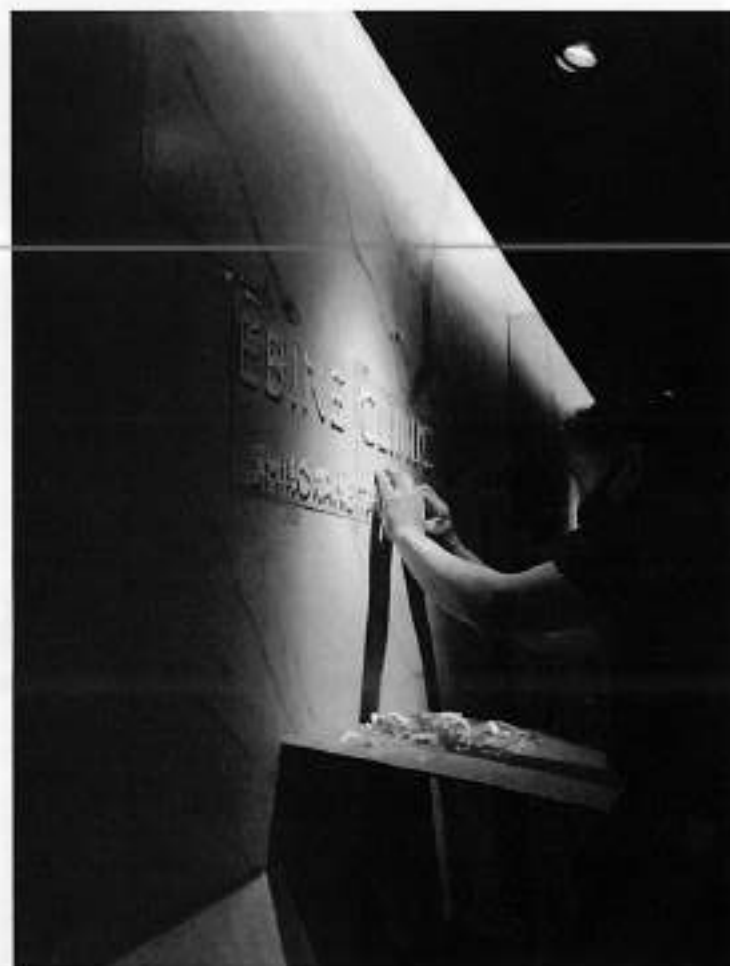
- 設計（株）パワーステーション：小倉薫雄
CG作成：鈴木学
サイン計画：小出義文
照明計画：胡屋、マックスレイ
書：小倉薫雄

- 施工：バックシステム 大竹真人
- 家具：カッシーナ、ノル、インターオフィス
タイル：マラッティージャパン（玉岡雅代）
漆喰塗装：ゲーテハウス（ユニブラル）
顔認証／体温検知システム：DMJ
照明器具／マックスレイ、
衛生機器／セラトレーディング
ドア金物／ユニオン

- 設計期間2019年5月～
施工期間2020年6月8日～7月25日（47日間）



日本の伝統色第9版



一級建築士事務所パワーステーション
東京都港区南麻布2-8-1-403
小倉薫雄（おぐらしげお）
090-4388-9533
ogura@power-st.co.jp

8月1日よりホームページが作新されます！